

今回の例会発表システムのご紹介

今回は助っ人のお陰でいつものハンドキャリによる重量制限が無くなるので、なるべく自宅で使用している様な一般的なシステムを持ち込んでお聞き頂くことにしました。



スピーカ

WOOFER SEAS W18EX001
TWEETER SEAS T29MF001
エンクロージャ 17L のバスレフ (Fs 約 40Hz)

SEAS はノルウェイのユニットメーカーで、このシリーズはマグネシウム振動板を使っているユニットです。振動板サイズは 18cm と 2.5cm です。

各エンクロージャはフローティング台に乗っています。

駆動は入力段にバッシブの LC フィルターを用いたマルチアンプ駆動でクロス周波数は約 2.5kHz、遮断特性はリンクウィットライリーの 2 次 (-12dB/oct) でバッフルステップ補償とウーファにはブレイクアウト用ピークキャンセラーとインピーダンス補正(こちらは両方)をしています。

アンプ

TI のデジタルアンプチップ TPA3255 を使用したステレオアンプ 2 台で左右モノアンプ駆動をしています。出力は ch あたり約 130W です。電源は SW 電源 (400W, 48V) を使用しています。

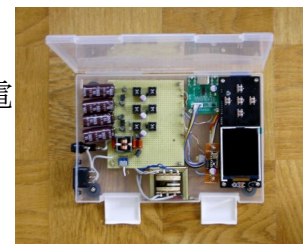
DAC

中華の新進メーカー S. M. S. L による旭化成の最新チップ (デジアナ分離 2 チップタイプ) を使った DAC を使用しています。プレーヤとの間は I2S 接続 (HDMI) です。



プレーヤ1 SDメモリープレーヤ

中華製のメモリープレーヤ基板使用を使用したプレーヤ、リニア電源で動作し、出力は HDMI (I2S) のみになります。操作は赤外線リモコンを使用します。



プレーヤ2 Symphonic-MPD (RassberyPi3+digiPro)プレーヤ



ラズパイ上で動いているリナックス系のプレーヤソフトで再生します。ソースは基本は NAS ですが今回は簡易的に USB メモリーを使用しています。操作は Pad から無線 LAN 経由で行います。電源は専用リニア電源で出力は HDMI (I2S)、S/PIDIF、TOSLINK が使えます。